



CSR報告書2019

CORPORATE
SOCIAL
RESPONSIBILITY
REPORT 2019

自然と社会と人に 深くかかわる企業として、 人々のためにより良い環境を創造する。

大成ロテック株式会社は、社会とすべての利害関係者から信頼を得て、
企業の社会的責任、持続的な成長を果たすことを追求し、
法令の順守、業務の継続的改善を推進するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

品質方針

創造力と知恵を結集して
技術の研鑽に努め、
社会と顧客から評価され、
信頼される品質を確立する。

環境方針

地球環境の保全を推進し、
循環型社会の実現に寄与して、
次世代のために
美しい快適環境を創造する。

安全衛生方針

先取り型の
安全衛生管理活動を実施して、
労働災害、公衆災害、交通事故を撲滅し、
健康で明るい職場環境を構築する。

CONTENTS

企業理念	1
会社概要／中期経営計画(2018-2020年度)	3
事業所ネットワーク	4
トップメッセージ	5
羽入地区舗装工事	7
大成ロテックの技術紹介	9
製品事業での取り組み	12
マネジメント報告	13
地域社会とともに	15
従業員とともに	17
労働安全衛生管理体制	19
環境活動報告	21
2018年度の施工実績	22

編集方針

当CSR報告書は、大成ロテック株式会社が社会に果たす役割と様々な取り組みを皆様にお伝えすることを目的に発行しております。

今年度は当社の主たる事業である道路舗装工事を紹介し、私たちの会社をもっと知っていただけるよう工夫をしてみました。

当報告書が、当社をより良く理解していただくための一助となれば幸いです。

お忙しい中、記事にご協力いただいた方々、並びに編集委員にこの場をかりて深く感謝いたします。

対象組織：大成ロテック株式会社

対象期間：2018年4月1日から
2019年3月31日まで

※一部期日を明記した上で当該期間以外の内容も記載しております。

お問い合わせ先：

大成ロテック株式会社 経営企画部
東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー
TEL 03-5925-9435
FAX 03-3362-5804

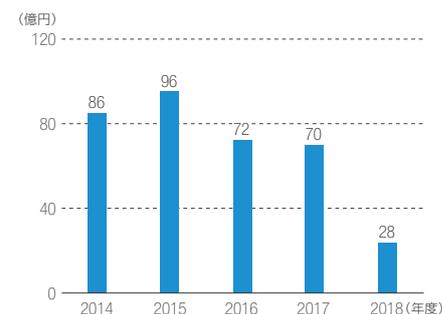
会社概要

商号	大成ロテック株式会社 (英文名 TAISEI ROTEC CORPORATION)
本社設立	東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 1961年 (昭和36年) 6月15日
資本金	113億5百万円
建設業許可	国土交通大臣許可 (特-29) 第1964号・(特-30) 第1964号
建築士事務所登録	1級建築士事務所 (東京都知事登録第21111号)
建設コンサルタント登録	国土交通大臣登録 建26第130号
宅地建物取引業者	東京都知事 (12) 第33255号
従業員数	1,200名 (2019年3月31日現在)
営業種目	1.次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング (1) 道路工事 (2) 舗装工事 (3) 防水工事 (4) 管工事 (5) 造園工事 (6) その他の土木工事 (7) その他道路に関する工事 (8) 建築工事 2.建設用資材の製造および販売 3.建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸 4.道路、空港、上下水道その他公共施設等の企画、建設、保有、維持管理及び運営 5.スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸 6.産業廃棄物の処理ならびにその再生品の製造および販売 7.不動産取引および不動産管理に関する事業 8.発電およびエネルギー供給事業 9.前各号に付帯関連する一切の事業

受注高および売上高



経常利益



中期経営計画 (2018-2020年度)

当社はコンプライアンス遵守を基本とする経営方針のもと、高収益体質への転換に取り組み、今後の持続的成長を実現し、業界内での確固たる地位を確立するため、今般、中期経営計画 (2018~2020年度) を策定しました。

— 基本方針 —

Sustainability

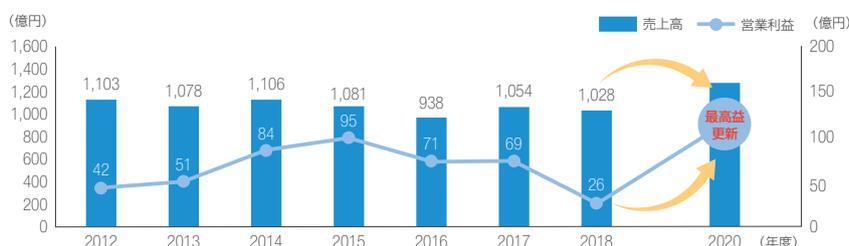
持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス遵守を全ての事業活動の前提とし、以下を基本方針とします



経営数値目標

当社の過去最高益 (2015年度営業利益) の更新を目指します。



事業所ネットワーク

本社を中心に支社、事業所など、日本全国に200ヶ所以上の拠点を設置。

各種工事の施工、アスファルト合材などの製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。

● 本社

技術研究所／機械技術センター／鴻巣研修センター

● 北海道支社

道北エリア	遠別営業所／弟子屈営業所／道北工事事務所／道東工事事務所／函館アスコン／イブリアスコン／洞爺アスコン／苫東アスコン／門別合材工場
道南エリア	道南事業所／函館営業所／門別営業所／道南工事事務所／日苫工事事務所／札幌中央アスコン
道央エリア	道央事業所／札幌営業所／ニセコ倶知安営業所／道央工事事務所／大雪アスコン／遠別合材工場／丹頂アスコン／弟子屈合材工場

● 東北支社

北東北エリア	北東北事業所／岩手営業所／岩手工事事務所／釜石営業所／久慈工事事務所／青森工事事務所／三沢営業所／秋田工事事務所／岩手中央アスコン／久慈中央アスコン／秋田アスコン
宮城エリア	宮城事業所／宮城営業所／宮城工事事務所／山形工事事務所／仙台アスコン／山形合材工場
福島エリア	福島事業所／福島営業所／福島工事事務所／福島北工事事務所／いわき工事事務所／相馬工事事務所／福島県中央アスコン／若松アスコン／福島・県北アスコン／いわきアスコン／相馬アスコン

● 東関東支社

千葉エリア	千葉事業所／千葉営業所／房総営業所／成田営業所／千葉工事事務所／成田工事事務所／房総合材工場／成田アスコン
船橋エリア	船橋事業所／船橋営業所／船橋工事事務所／柏工事事務所／トーセキアスコン
茨城エリア	茨城事業所／茨城営業所／鹿島営業所／土浦工事事務所／ひたちなか工事事務所／石岡合材工場

● 北関東支社

さいたまエリア	さいたま事業所／さいたま営業所／さいたま工事事務所／北首都舗装工事事務所／浦和アスコン／鴻巣上谷環境センター
川越エリア	川越事業所／川越営業所／川越工事事務所／花園工事事務所／花園合材工場
北関東エリア	北関東事業所／栃木営業所／栃木工事事務所／群馬工事事務所／栃木アスコン

● 南関東支社

東京エリア	東京事業所／東京営業所／京浜営業所／川崎営業所／東京工事事務所／京浜工事事務所／東京青海合材工場／城南島リサイクルセンター
多摩エリア	多摩事業所／多摩営業所／多摩工事事務所

● 横浜支社

横浜エリア	横浜事業所／横浜営業所／横浜工事事務所／相模アスコン
-------	----------------------------

● 北信越支社

信越エリア	長野営業所／信越工事事務所／新潟アスコン
北陸エリア	北陸事業所／富山営業所／福井営業所／石川工事事務所／加賀アスコン



● 中部支社

名古屋エリア	名古屋事業所／新東名NEXCO関連事業所／新東名NEXCO関連工事事務所／名古屋営業所／浜松営業所／静岡営業所／名古屋工事事務所／浜松工事事務所／エーシートコアケ／湖西アスコン／静岡アスコン
尾張エリア	尾張事業所／尾張営業所／岐阜営業所／尾張工事事務所／小牧合材工場
三重エリア	三重事業所／三重営業所／三重工事事務所／名四アスコン

● 関西支社

大阪エリア	大阪事業所／大阪営業所／奈良営業所／大阪工事事務所／岸和田合材工場／淀川アスコン
神戸エリア	神戸事業所／神戸営業所／神戸工事事務所／せいしんアスコン／姫路アスコン
京阪エリア	京阪事業所／京阪営業所／京都営業所／福知山営業所／京阪工事事務所／大阪アスコン／福知山合材工場／京丹後アスコン／綾部アスコン

● 中国支社

東中国エリア	東中国事業所／岡山工事事務所／鳥取工事事務所／津山合材工場／鳥取合材工場
西中国エリア	西中国事業所／呉営業所／島根営業所／備後営業所／広島工事事務所／山口工事事務所／広島合材工場／広島アスコン／島根アスコン／防府アスコン

● 四国支社

四国エリア	四国事業所／高知営業所／香川工事事務所／愛媛工事事務所／池田アスコン／脇町アスコン／東予アスコン
-------	--

● 九州支社

北部エリア	北部営業所／福岡工事事務所／大分工事事務所／佐賀工事事務所／玄海アスコン／豊海アスコン／佐賀合材工場／福岡サテライト工場
中南部エリア	中南部事業所／熊本営業所／熊本工事事務所／鹿児島工事事務所／熊本合材工場／阿蘇合材工場／ひむか合材センター
沖縄エリア	沖縄事業所／沖縄工事事務所／海邦アスコン

● 国際支社

2019年11月時点

トップメッセージ



- Sustainability -

持続的成長を
実現していくために、
私たちは未来に向けて
挑戦します

代表取締役社長 **西田 義則**

❖ 信頼回復に向けて

当社は、2019年7月30日に公正取引委員会より、アスファルト合材カルテル事件（2017年2月に発覚）に関する排除措置命令および課徴金納付命令を受けました。事件発覚以来、二度と同様の事件を起こさないために、様々な再発防止策を講じてまいりましたが、この度の命令を厳粛かつ真摯に受け止め、今後より一層、法令遵守の徹底に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

そして、全役職員がコンプライアンスの基本に立ち

返り、「新生大成ロテック」として再出発いたします。

❖ 私たちを取り巻く環境および課題

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設事業がピークを迎え、また、防災・減災、国土強靱化施策や民間プロジェクト等による建設需要もあり、総じて建設市場は堅調に推移しています。一方で、建設投資の内容としては、インフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、

市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しています。

また、少子高齢化社会が進む我が国において、担い手を確保し生産体制を維持していくことはまさに喫緊の課題となっており、国・業界を挙げて「働き方改革」と「生産性向上」への取り組みが行われています。

❖ 中期経営計画(2018-2020)の目標達成に向けて

2018年度からスタートし持続的成長を目指した中期経営計画(2018-2020年度)では、コンプライアンスを全ての事業活動の前提としています。その上で、①景観性・耐久性の高い石張舗装の「インジェクト工法」、ヒートアイランド対策となる「保水性舗装」など当社の強みを生かした「本業のさらなる強化」、②維持修繕事業や建築事業、海外事業、再生エネルギー事業等の「新たな事業分野への挑戦」、③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命の推進」、④ものづくりを行う企業の責務として「安全・環境・品質トラブルの防止」、⑤大成建設グループ、大成ロテックグループとの「グループ連携強化」などの取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

❖ 「自然」と「社会」と「人」に深くかかわる企業として

日本各地で大きな自然災害の発生が続いている中、当社は企業の社会的責任を果たすことを念頭に事業活動を継続してまいります。そして、こ

れからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを実現してまいります。

❖ 働き方改革と生産性革命

当社は、将来の担い手確保を重点課題の一つと位置付けており、全社一丸の取り組みとして、2020年度より、新入社員には配属先の繁忙度・状況に拘わらず、土・日休暇100%取得を保証することを決定いたしました。

長時間労働の削減、休日取得に対する意識改善を行い、就業時間選択制、変形労働時間や時間有休制度等、多様性のある働き方の取り組みによって魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、ICT技術(情報通信技術)の建設現場への導入促進や年間工事消化量の偏りの平準化、安全・品質トラブル防止などの取り組みも併せて推進していきます。

❖ 当社の未来

東京オリンピック・パラリンピック後も建設市場は一定の規模を維持していくものと見ていますが、当社はその先の未来を見据え、時代や環境の変化に対応していき、持続的成長を実現していくための経営基盤を強化していきます。

当社は、2021年に創立60周年を迎えます。大成建設グループの中核を担う企業として、これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実ともにNo.1」を目指し挑戦していきます。

東北支社管内で 社内初のICT舗装工を竣工

羽入地区舗装工事（発注：東北地方整備局山形河川国道事務所）は、福島県相馬市から秋田県横手市間に計画されている東北中央自動車道の内、東根ICから約740mの延長区間における新設の舗装工事です。本工事は、ICT活用工事（舗装工）として発注された工事であり、起工測量・設計計画・機械施工（MC）・出来形評価・検査まで全施工プロセスにおいてICTを活用し、社内で初のICT舗装工として竣工しました。また、当現場はICT舗装工への取組みが高く評価され、東北地方整備局長表彰を受賞しました。



現場担当者の声

社内初のICT舗装工を竣工させることができ、とても嬉しく感じています。厳しい工程の中、ICTを活用し施工の効率化・省力化を図り、降雪前に舗装工を完了させることができました。

また、当現場は、ICT舗装工への取組みが評価され、東北地方整備局長表彰を受賞し、私がこれまで経験した現場の中で最も印象に残る現場となりました。

現場担当
畑中 祐輝



工事概要

工事名
羽入地区舗装工事

施工場所
山形県東根市大字羽入地内

工期
2018年6月2日～2019年1月10日

施工概要
舗装工 約18,000㎡
<うちICT施工（下層路盤）約13,000㎡>
道路土工 1式、排水構造物 1式 ほか



局長表彰 現場

ICT担当者の声

社内で初めてICT舗装工を実施した現場が、無事竣工を迎えることができ大変嬉しく思います。

現場担当がICTの経験が少なかったため、支社のICT担当者として、初めて使う技術を上手く活用し、従来よりも効率的に現場が進むよう力を注ぎました。東根IC周辺は、果物畑や山形空港もあり、走りながら景色を楽しめるので、是非お立ち寄りください。

ICT担当
小笠原 圭純



1

起工測量

施工前の起工測量では、地上型レーザースキャナ (TLS) を使用し、対象物(施工面)の位置情報 (点群データ) を取得します。

TLSの活用により、短時間で面的 (高密度) な3次元測量が可能となり、測量成果のとりまとめや設計照査を効率的に行うことができます。

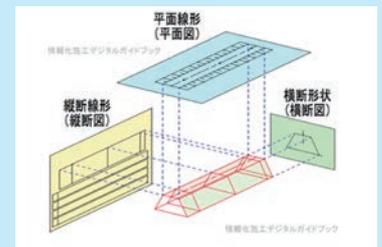


2

設計・計画

2次元のデータ (平面図、縦断面図、横断面図等) から、3次元設計データを作成します。

作成した3次元設計データは、施工～出来形管理～検査に至るまで、一貫して利用されるため、設計データの作成はICT舗装工において重要な作業の一つです。



3

MC 施工

3次元設計データにより、ICT建設機械【マシンコントロール (MC) グレーダ等】を自動制御し施工を行います。ICT建機の活用により、高精度な施工が可能となるほか、丁張削減による作業効率の向上も図れます。また、検測作業時の作業員の減少により、安全性の向上にも寄与します。

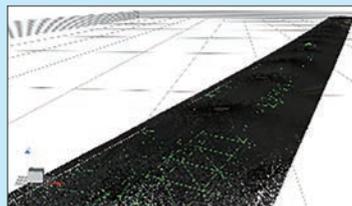


4

計測・評価

出来形管理は、トータルステーション (TS) やTLSにて計測を行います。

従来は、各測点ごとの点管理でしたが、ICT舗装工では、施工面全体をTLSで取得した点群データから、面管理による出来形評価を行います。

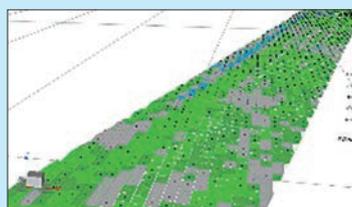


5

検査

出来形計測結果は、規格値に対する割合を示すヒートマップとして色分けされた出来形管理図表として表されます。

これにより、出来形管理書類が半減し、検査の省力化が図れます。





TECHNOLOGY

大成ロテックの技術紹介

卓越した技術力とノウハウで
社会への価値創造を追求します。



大成ロテックは、これまで培ってきた技術力とノウハウを背景に、環境技術として、路面騒音の抑制、ヒートアイランド対策、維持・修繕、景観舗装など、目的別に多彩な新技術・工法を次々に開発してきました。

路面騒音の抑制

- **排水性・透水性舗装「ポーラスペーブ」**
連続した空隙を有するポーラスアスファルト混合物が、タイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制する舗装。
- **PRMS多機能工法**
排水性舗装の表面の空隙部に弾性レジモルタルを充填する工法。弾性モルタルがタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。
- **MAP工法**
2種類のアスファルト混合物を同時に敷きならすことができる“マルチアスファルト・ペーバ”を使用して舗装を構築する工法。上層に小粒径のポーラスアスファルト混合物、下層に通常のアスファルト混合物を同時に敷きならすことで、高い騒音低減効果を有する“2層式低騒音舗装”を構築できます。
- **骨材露出工法**
コンクリート舗装の表面の骨材を露出させ、すべり抵抗性を改善する工法。舗装表面の凹部がタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。

維持・修繕

- **リラクスファルトHT舗装**
変形追従性（たわみ性）や応力緩和性、塑性変形抵抗性を改良した特殊改質アスファルト混合物。リフレクションクラックの発生を抑制し、維持管理におけるコストダウンを図ることができます。
- **ワンダーコーティングシステム**
構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システム。コンクリート構造物への雨水等の浸透による劣化の防止、外観の長期維持、および汚れを簡単に除去できる機能を持つガラスコーティング技術です。



リラクスファルトHT舗装

ヒートアイランド対策

- **保水性舗装「クールロード」**
ポーラスアスファルト舗装の空隙に充填した特殊なセメントグラウトが水を蓄え、その蓄えられた水が蒸発する際に路面温度を下げる舗装。
- **遮熱性舗装「クールウェイ」**
太陽光のうち、物体の温度を上げる“近赤外線”を効率良く反射する特殊な塗料“遮熱性塗料”を舗装の表面に塗布した舗装。遮熱性塗料の効果により路面の温度を低下させます。

創造される価値

安全・安心なインフラ構築

地球環境保全

社会からの要請に応える技術研究所

技術研究所では、簡便で精度に優れる道路構造物の点検調査技術や効率的な維持修繕技術、耐久性を高める長寿命化技術など、未来を見据えた舗装技術の開発を通して、より良い環境の創造や安心・安全な社会の提供に貢献するため、所員一丸となって活動しています。



快適な歩行空間の創造

● ウッドファイバー舗装

間伐材を再利用し、クッション性が高く自然に調和する舗装。

● ソフトウォーク

リサイクルゴムチップを用いた舗装。透水性と適度なクッション性を有し、歩経路やジョギングコースの舗装に適しています。

● シルバーウォーク80

「転倒しても比較的安全な硬さ」、「歩きやすい硬さ」、「車椅子が走行しやすい硬さ」を追求した透水性の歩道用のゴム弾性舗装。



ソフトウォーク

常温合材

● TRミックスシリーズ TRミックス アクア

全天候型高耐久常温アスファルト補修材。水で固まるアスファルトで、軽交通から重交通舗装の補修に適用可能な高耐久な常温合材です。敷きならし後に散水することで硬化反応が開始し、早期に交通開放が可能です。



景観舗装

● インジェクト工法

大型車の走行にも対応する耐久性抜群の自然石を用いた石張り舗装工法。



インジェクト工法

● TNC自然色舗装

天然の骨材が持つ自然な色彩をそのままに、さまざまな情景にマッチする自然色舗装。

● エクセレントソイル

土本来の自然な風合いとともに、適度な弾力性、衝撃吸収性を備えた歩道用の土系舗装。

防災

● 地下貯留工法

公園や駐車場などの地下に貯留槽を構築する工法。都市部のゲリラ豪雨など、短い時間で降った大量の雨を一時的に貯留することで、道路等の冠水の発生を抑制します。

● スーパーフレックスファルト

アスファルト表面遮水壁に使用する、たわみ性に優れた耐震性の高い特殊なアスファルト混合物。地震時の急激な堤体の変形にも追従し、アスファルト遮水壁表面のひび割れの発生を抑制します。

インジェクト工法

景観性が高く、高級感のある石張り舗装は、観光地や参道などでよく適用されていますが、大型バスが走行するような路線では早期に石の破損やガタツキが発生していました。

そこで当社は従来の石張りから「すえつけ材料」「施工方法」を改良し、大型車への耐久性のある自然石舗装を実現しました。

インジェクト工法は大型車が走行しても破損しない、耐久性抜群の自然石舗装の構築工法であり、歩行道一体の石畳の景観舗装を可能とします。最初の施工場所は定期バスや大型観光バスが走行する路線で、供用開始から25年を超えましたが、良好な供用性を維持しています。

1994年の施工開始以来インジェクト工法は28万㎡以上、950件以上の施工実績があります。

◆ 大型車両が走行しても破壊しない石張り舗装が構築できます。

◆ インジェクト層の強度は従来工法（空練りモルタル層）に比べてバラツキが少なく、均一な据え付けができます。

◆ 不整形の天然石ブロックでも据え付けが容易であります。

◆ インジェクト工法は即日開放が可能です。



花見小路通(京都府)



ビーコンプラザ前(大分県)1994年竣工時



ビーコンプラザ前(大分県)現在

ワンダーコーティングシステム

ワンダーコーティングシステム - ガラスコートシリーズ - は構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システムです。

常温での塗装が可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。

長期間維持機能

ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線から守ります。

汚れ防止機能

トンネル内壁やコンクリート打ち放し壁面などを、排気ガスや降雨による汚れを付きにくくし、また汚れても落とすしやすくします。

環境美化機能

ラッカーやシンナーが乗りにくく、張り紙も接着しにくいので、落書きや張り紙を簡単に除去でき、抑止効果も期待できます。



施工前



施工後

製品事業での取り組み

全国の合材工場をネットワークに
お客様のニーズや環境課題に応
えていきます。



いま私たちができること

環境課題への配慮と資源の有効活用のため、リサイクル事業促進に力を入れています。

いつも安心・満足を目指して

製造時の品質管理の徹底はもちろん、お客様の「品質を確かめたい」にお応えできるよう各試験に対応しています。



工場での店舗グッズ販売



(名四アスコン：2018年リニューアル)



お客様に最適なお提案

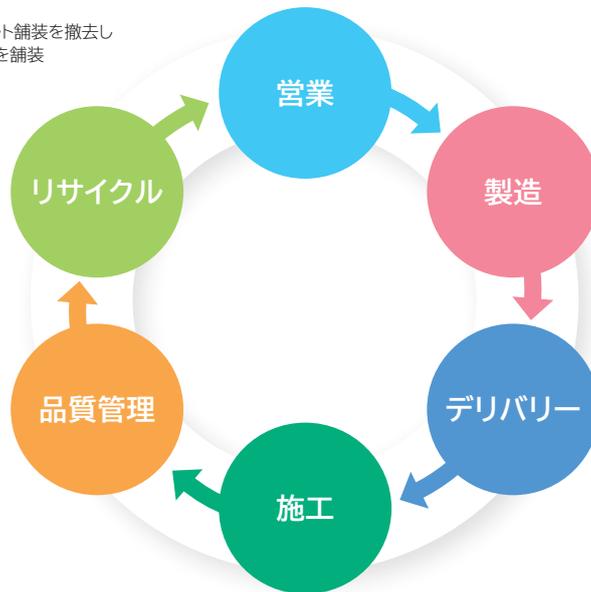
自社製品をはじめ、舗装工事、品質管理など、道路に関するあらゆるサポートをご提案します。

高品質な製品を最新設備で

省エネ・CO₂排出量削減効果の高い最新設備で、徹底した粉塵・騒音対策のもと、高品質な製品をご提供。

スムーズな工事をサポート

お客様の現場状況やニーズを的確に把握し、スムーズな製品の納入でお客様の工事のより良いサポートと顧客満足の向上を目指します。



安心して利用できる施工技術

快適で安全性の高い施工技術を提供し、道路をはじめお客様のさまざまな設計・施工をサポートしています。

循環型社会に対する製品事業部の取り組み

製品事業部では、循環型社会に向けた取り組みとして、建設工事現場から排出される廃材を受け入れ、再生材を製造する中間処理業を行っております。

具体的な取り組みとして、老朽化した道路の打ち換えにより発生するアスファルト廃材や、ビルなどの解体時に発生するコンクリート廃材を受け入れ、中間処理により再生材を製造しています。アスファルト廃材は、再生アスファルト混合物の原料の一部である再生骨材として製品化され、新たな道路に活用されます。またコンクリート廃材は、再生路盤材へ製品化され、舗装道路の支持層として有効活用されます。

当社の中間処理工場では法令遵守のもと、環境に配慮した工場設備により再生率ほぼ100%を達成しました。2018年10月には、道路業界初の再生砕石「東京ブランド“粋な”えこ石」の施設認証を取得するなど、持続可能な循環型社会の形成の一助となるべく、これからも環境負荷の低減に取り組んでいきます。



城南島リサイクルセンター

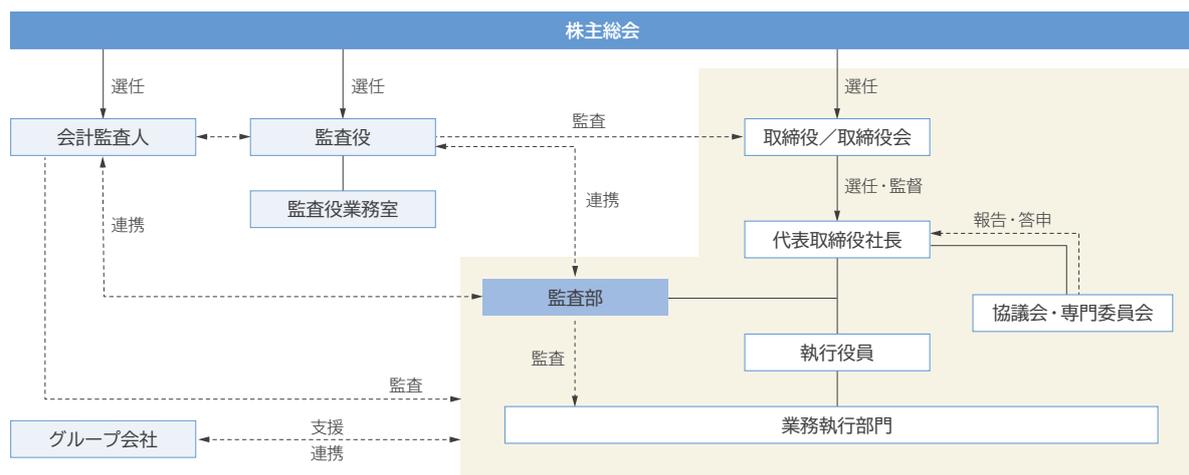


企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会（社外取締役を含む）は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進し、社会から信頼される企業となるため、法令等の遵守や公正な取引の確保等を図っています。

また、今年度は、「法務コンプライアンス部」および「監査部」を中心に、一連の独占禁止法違反事件を受けて策定した再発防止策に関するフォローを重点的に行い、関係各部門と連携することにより、再発防止策のさらなる徹底を図っています。



コンプライアンス研修の様子



eラーニング

具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスを徹底させるために、毎年、全国の事業所においてコンプライアンス研修を開催しています。研修テーマとして、独占禁止法および建設業法遵守の再徹底や事例説明に加え、注意すべき事案の水平展開を行うなど、具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- 2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しております。建設業法・ハラスメント・環境問題・労働関連など、毎回テーマを変え、月に1回をめぐりに配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規程「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」にのっとり、毎年入札業務の監査を行っています。

情報セキュリティ対策

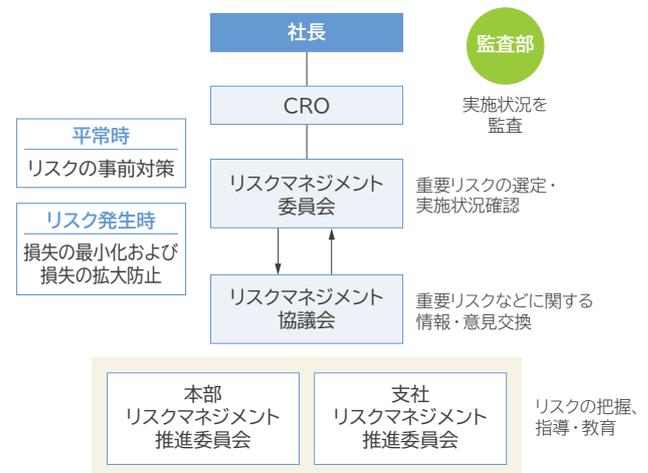
情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性をもたらした反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

- 個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

リスクマネジメント

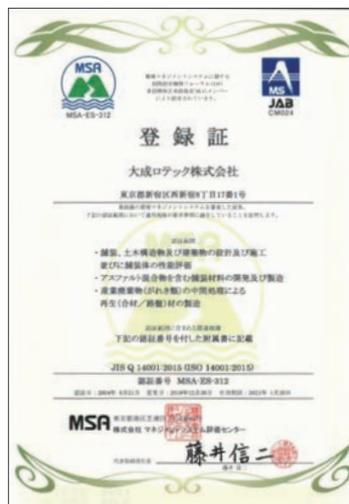
会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

リスクマネジメント実施体制



マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を受け、移行が完了しています。第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社が持続的な成長につながっています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年度にCOHSMSに基づく外部の認証登録を受けました。



地域社会とともに



本社

旧モーガン邸の清掃活動に参加

一般社団法人日本建設業連合会主催の社会貢献活動の一環として、神奈川県藤沢市の「旧モーガン邸」で庭園清掃のボランティア活動が行われました。草刈や枝の伐採を行い、参加者が協力して庭園の清掃にあたりました。



北海道支社

遠別町内 除雪ボランティアを実施

遠別営業所では、地元の中学生在が授業でスキー場へ向かう道の除雪作業を、毎年行っています。

生徒の安全な通行のため、入念に作業を行いました。

東北支社

「安全・安心10(イチゼロ)運動」に参加

「安全・安心10(イチゼロ)運動」に参加しました。仙台中央警察署と仙台中央地区企業防犯連絡協議会が主催しており、振り込め詐欺・乗り物盗難・万引き等各種犯罪防止といった、自主防犯意識の普及や地域の安全活動に取り組みました。



東関東支社

地元小学校を招いて社会科見学を実施

石岡合材工場では、毎年三村小学校の3年生を招き、工場見学を実施しています。

当社の社員が講師となり、工場の説明や重機・ダンプの運転席での記念撮影、合材のサンプル品などに触れる体験イベントを行い、道路舗装についての知識を深めるとともに、興味を持ってもらう良い機会となっています。

北関東支社

むつみの里「むつみ祭」出店活動協力

浦和合材工場の近隣施設、大崎むつみの里の文化行事「むつみ祭」に、地域交流の一環として参加し、焼きそば・唐揚げ・綿あめ等の販売を行いました。数週間の準備を行った甲斐があり、非常に盛況でほぼ完売となり、施設の方から感謝のお言葉をいただきました。



南関東支社

城南島連合会ビーチクリーンアップ IN 城南島

城南島リサイクルセンター付近の、都立城南島海浜公園内つばさ浜を、近隣他社と合同で清掃活動を実施しました。浜辺に打ち上げられた流木やゴミ拾いを行い、きれいな砂浜を守る活動に毎年参加しています。

中国支社

ボランティアロードに参加

中国地方整備局が活動を進めている「ボランティアロード」に参加しています。

年3~4回、一般国道31号広島県呉市中央一丁目呉そごう前のゴミ拾いや雑草処理などを行い、道路の美化活動にあたっています。



九州支社

地元小学生を工場見学へ招待

近隣小学校から児童140名ほどを工場に招待し、工場見学会を開催しました。当工場の業務内容を印刷した下敷きを配布したうえで、透水性舗装の実証実験や当社商品である「ソフトウォーク」にゴルフボールを落とす実験等を行いました。生活に身近な道路に関心を持っていただき、大変有意義な時間となりました。



RESPONSIBILITY

従業員とともに



人権の尊重

人権啓発活動

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、さらにイントラネット上での「人権啓発のしおり」の掲載や、各事業場でのハラスメントに関する相談員の配置など、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。

人権啓発協議会

目的

- ① 同和問題をはじめ社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- ② 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- ③ 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

活動方針

- ① 『人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利』であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- ② 同和問題、障がい者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成をはかる。

労使関係

当社社員組合とユニオンショップ協定を結んでおり、管理職などを除くすべての正社員が組合員となっています。労使関係や会社の事業活動の円滑化を目的に毎年労使間でアンケート調査やさまざまな対話を実施しています。労働条件の変更などは労使で協議する事項としてあらかじめ労使間で決定しています。

働き方改革の推進

社内に「労働時間に関する協議会」および「ワーキンググループ」を設置し、さまざまな施策の立案・効果の分析を行っています。また、さまざまなツールを活用し社員とともに意識改革に取り組むことで、さらなる効率化を図り、労働時間の短縮、休日・休暇の取得率向上など今まで以上に社員が働きやすい環境づくりを行っています。

早く帰ろうデーの実施

PC自動シャットダウンシステムを導入しており、社員組合が掲げて「毎週水曜日の早く帰ろうデー」として毎週1回実施していたものを、2018年11月より毎日実施しています。

具体的活用ツール

- 休日・休暇取得計画表
 - 働き方改革コミュニケーションボード
- 休日予定等の見える化を実施し、休みやすい環境づくりを行っています。

ライフスタイル、業務に合わせた就業時間の変更

子どもを保育園等に預ける時間、公共交通機関のダイヤに合わせるなどの、ライフスタイルに合わせて就業時間を変更できる制度（現在3パターン）を導入しております。また、就業時間の繰り上げ下げ（出社時間から8時間勤務）も実施しています。

さらに、特定部門では変形労働時間制を導入しており、繁忙期と閑散期でメリハリをつけた終業時間の設定をしています。

GW、夏期、年末年始には特別休日のほか計画年休や休暇取得推進日を設けるなどとして、7～10日程度の連続休暇となるように設定しています。

リフレッシュ休暇・特別慰労休暇

勤続15年を迎えた社員にはリフレッシュ休暇として連続7日の休暇を、勤続25年を迎えた社員には特別慰労休暇として連続7日の休暇および旅行券を付与し、長年の勤務に対し慰労するとともに、心身ともにリフレッシュしさらなる活躍の契機となる制度を設けています。

有給休暇平均取得日数

有給休暇平均取得日数			
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
7.8日	8.8日	9.2日	9.5日

ダイバーシティの推進

ダイバーシティ推進室を設置

2018年度、新たにダイバーシティ推進室が設置されました。女性、外国人、障がい者などの「多様性のある人材活用」や、就業時間の選択制などの「多様性のある働き方」の推進を行い、多様な人材が活躍できる働きやすい会社への変革を目指していきます。

仕事と子育ての両立

社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかわる休業・休暇制度の整備をしています。

障がい者雇用率の改善

障がい者雇用を積極的に推進し、法定雇用率

2018年度
2.34%

(2.2%)の達成を実現しています。

外国籍従業員の採用

当社では、外国籍の社員も活躍しています。今後も積極的に採用を行い、多様な人材の活躍を推進していきます。

- 2019年度採用実績10名（ミャンマー国籍8名、韓国籍2名）
 - 2020年度採用予定7名（ベトナム国籍5名、中国籍1名、カナダ国籍1名）
- ※いずれも総合職採用

当社初の女性合材工場長就任

2019年4月1日付で九州支社佐賀合材工場に女性の工場長が就任いたしました。

女性社員研修会の実施

本社および各支社にて、女性社員を対象とした「ビジネスマナー研修」などの各種研修を実施しています。また、女性目線での業務改善をテーマとした女性社員の意見交換会を随時開催し、働きやすい職場づくりに努めています。

人材開発教育活動

新入社員研修に始まり階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。



研修の一例 情報化施工 (ICT) 研修



大成ロテック隼鴻巣研修センター

スキルアップ研修・部門別専門研修

1年次～	3年次～	30代～	40代～
新入社員研修	技術 (3年次) 研修	新任係長格研修	新任課長格・プレゼン研修
新入社員フォローアップ研修	上級品質管理担当者研修	国際研修	新任営業所長研修
基礎技術 (2年次) 研修	情報化施工 (ICT) 研修	現場代理人研修	新任工事事務所長研修
初級品質管理担当者研修	工事担当者 (6年次) 研修	工事担当者 (上級) 研修	新任工場長研修
営業基礎研修	エンジニアリングレベルアップ研修	PFI事業関連研修	マネジメント研修
機械担当者 (初級) 研修	原価管理研修	法務研修	部長格研修

※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数の研修を実施しています。

資格取得支援

全社員を対象として業務上必要となる資格・免許などの取得について、受験対策研修の実施や受験費用などを支援し、各分野におけるスキルアップを図っています。

資格一例

- 1級土木施工管理技士
- 技術士
- 1級建設業経理士
- 1級舗装施工管理技術者
- 監理技術者資格
- 宅地建物取引士
- 1級建設機械施工技士
- 監理技術者講習
- エネルギー管理士
- 1級建築士
- 測量士
- 衛生管理者
- 舗装診断士
- コンクリート主任技士
- 博士号 など

若手社員に対する教育・指導

入社1～2年目の社員と年齢の近い社員を指導員に任命し、月に1度、生活指導や社会人としてのマナーを教育するとともに、工作上不安に感じていることなどを共有しコミュニケーションを図っています。

社長・本部長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの意欲向上を図っています。



テクノフォーラム2018開催

7月24日、鴻巣研修センターで「テクノフォーラム2018」が開催されました。第1回となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年開催となりました。発表は「国道42号秋葉町管路敷設他工事におけるICT技術活用事例」など15編で、事前に提出された論文と当日の発表内容によって審査が行われました。発表者と参加者による活発な意見交換があり、社員の創意工夫や技術提案を知る最良の機会となりました。



テクノフォーラム2018 受賞者



RESPONSIBILITY

労働安全衛生 管理体制



安全衛生マネジメントシステム

当社は2018年11月28日に建設業労働安全衛生マネジメントシステム (NEW COHSMS) が全社で認定されました。

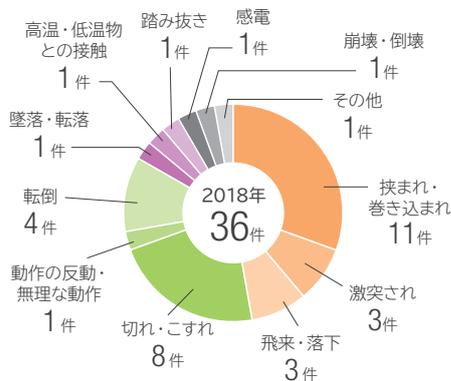
2019年1月1日に安全衛生管理標準 (第3版) の改訂版を発行し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害、交通事故の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

2018年の事故・災害発生状況 総括

当社の災害発生状況は『挟まれ・巻き込まれ』によるものが11件と最も多くなっています。

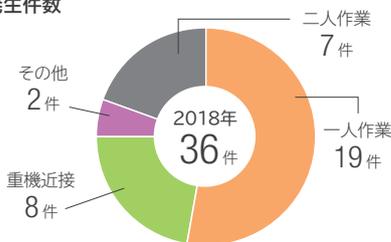
また、『切れ、こすれ』が8件発生し、このほとんどが回転工具・回転体による繰返し型の災害です。

事故の型別 発生件数



作業形態別では一人作業によるものが19件と、全体の52%を占めています。例年発生していなかった、二人作業は7件発生しています。

作業形態別 発生件数



2019年安全目標

死亡災害 **ゼロ** 公衆災害 **ゼロ** 交通事故 **ゼロ**

作業環境の整備 度数率 **0.7** 以下 (休業4日以上、8人/年以下)

$$\text{度数率} = \frac{\text{休業4日以上の労働災害による死傷者数}}{\text{延べ労働時間}} \times 1,000,000$$

(小数点第3位以下は四捨五入)

2019年度重点実施項目

- 1 重機・機械関連災害及び繰返し災害の防止**
※重篤な災害及び繰返し事故を発生させる作業を特定し、対応措置を周知し作業に反映して事故を防止
- 2 本・支社幹部による「事故災害撲滅運動」の推進**
※工事の繁忙期や危険作業の実施時期をおさえ、パトロールを実施
- 3 安全意識と管理能力向上**
※作業に内在する危険を予知し、日々の作業計画(資材搬入を含む)を確実に実行し、計画を作業に反映できる人材の育成
- 4 協力業者の能力向上**
※事業主へ当社ルールを周知し、それを展開することにより、日々の作業で事故のリスクを軽減する
- 5 危険作業、架空線、埋設物等近接作業時の確実な計画立案とチェック及び幹部も含めた現場状況の確認による公衆災害の防止**
※支社幹部を含めた全員で現場を確認。それを計画に反映し危険の芽を摘む
- 6 管理部門と一体になった、交通安全活動**
- 7 作業環境の整備**

工事部における重点管理項目

重機災害の防止

- 1 立入禁止、関係者以外立ち入り禁止の区別を明確にし実施する
- 2 ダブルセーフティーを確実に実施する
- 3 重機の転倒・転落についての検討を行う

重大災害及び繰返し災害の防止

- 1 チェックリストを周知し、活用する
- 2 事故例を水平展開し現場作業に活用する

本・支社幹部のパトロール強化

- 1 先手管理工程表を充実させ、現場の確認及びパトロールに反映し事故を防止する
- 2 重点管理現場を設定し、パトロール・管理を充実させる

安全意識と管理意識の向上

- 1 安全の見える化を実施させ、危険に対する感性を磨く
- 2 作業打合せ書、機械等計画書を確実に記入させ安全管理能力の向上を図る
- 3 工事検討会・周知会を確実に実施させ、安全管理の指導を行う

協力業者に対する安全意識の向上

- 1 声掛け運動を実施させ、作業員個々の安全意識を向上させる
- 2 送り出し教育を確実に実施させ、安全意識の向上を図る
- 3 作業変更時のルールを徹底させ、勝手な作業はさせない

公衆災害の防止

- 1 工事検討会・周知会を現地で行い、幹部も現場状況を確認する
- 2 計画書作成時に現場状況を踏まえた安全対策を立案する
- 3 架空線、埋設物、既設構造物に対しては確実に明示を行うとともに適切な対策を行う

交通事故の防止

- 1 工事用車両等の運行について事前に経路を選定する
- 2 入社2年時の交通安全運転の受講と適性診断を実施し指導する

作業環境の整備

- 1 不自然な姿勢での作業や無理な作業を排除し、作業を行いやすい設備や方法を計画する
- 2 現場に合わせた熱中症対策の立案を行い確実に実行する
- 3 コミュニケーションボードを活用し工事担当者の適正配置及び休日取得を推進する

製品事業部における重点管理項目

工場機械災害の防止

- 1 機械動力稼働箇所に接触防止、立入禁止対策等を行う
- 2 過去の工場発生類似災害防止の為、重点危険箇所「スキップエレベーター」等には安全補助装置を設置する

重機および車両事故の防止

- 1 車両系建設機械への安全補助装置「接触防止センサー」の設置と場内重機作業ルールの徹底によるダブルセーフティーを実施する
- 2 重機車両と人との接触を防止するために歩行者通路を明示する
- 3 工場で使用する車両の通門管理の徹底により、顧客の車両との区分を明確にする

本・支社幹部のパトロール強化

- 1 支社ごとに重点管理工場を指定し、重点的なパトロールを実施する
- 2 パトロール時には、作業打合せ書を確認し、当日の作業の管理状況等を確認する

安全意識向上のための教育の実施

- 1 本・支社幹部は、社員及び職長へ安全衛生環境教育を実施し、安全衛生環境管理能力の向上を図るとともに作業方法について教育を行う。また、協力会社職長にも支援・指導を行う
- 2 製品製造時の機械整備・点検・清掃・調整作業において、実作業に見合った作業手順の整備と遵守を行う

交通事故の防止

- 1 工事用車両等の運行について事前に経路を選定する
- 2 入社2年時の交通安全運転教育の受講と適性診断を実施し指導する
- 3 ダンプ車両の資材運搬時及び工事現場内における法令及び作業ルートを周知し遵守させる

作業環境の整備

- 1 出退勤管理の徹底と休日取得を推進する
- 2 試験室の作業環境整備を行うとともに作業手順の整備とその遵守を徹底する

パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施して事故災害の撲滅に努めています。

社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



東京国際空港東側整備地区
エプロン他舗装改良工事



木更津(29)駐機場新設舗装工事

本社安全環境品質部によるパトロール

安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境品質部が随時行う現場や工場のパトロールです。このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき安全だけではなく、当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡視を行っています。

事業主によるパトロール

支社長をはじめとする支社幹部や事業所長によってパトロール計画に則り定期的に行われる安全パトロールです。

事業主によるパトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上行われる安全パトロールです。



現場パトロールの様子



協力会社との係わり

職長教育について

建設業の担い手不足は業界が抱えている問題です。当社は正会員協力会社施工工会に所属する職長が、施工管理能力と積算能力、生産性・利益向上を目的として、全国で職長の教育を実施しています。



中国支社 職長会活動状況



マイスター制度について

当社の施工現場において労働災害防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題です。そのためには協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。

「大成ロテックマイスター職長制度」は、優秀な職長を当社の施工現場に確保すると共に技術・技能を継承するために優良技能者報酬制度として2016年に定めたものです。



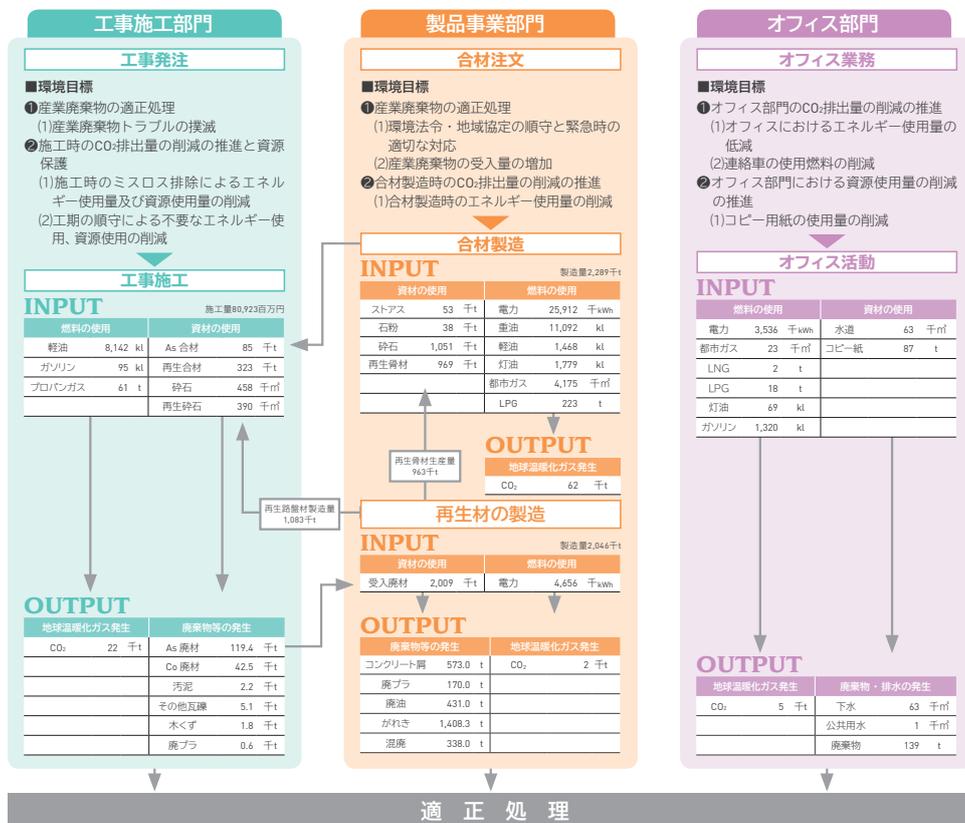
ENVIRONMENT

環境活動報告



環境負荷物質の排出と削減状況

大成ロテックは、道路などの施工や合材製造、営業活動、技術開発・研究活動、オフィス活動その他の日常業務を通じて、以下のような環境負荷物質を排出しています。そして、舗装工事現場から排出されるアスファルト、コンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量の削減に貢献しています。



CO₂排出量削減への取り組み

大成ロテックでは、低炭素社会の実現を目指し、施工時、製品製造時のCO₂削減に努めています。

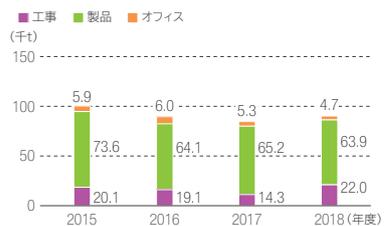
工事施工部門



製品事業部門



CO₂排出量



工事施工部門では施工高比のCO₂排出量が過去3年に比べ上昇に転じ、総排出量が増加しました。また製品事業部門では、環境に配慮した工場設備の設置等により、製造t当たりのCO₂排出量を前年度とほぼ横ばいに抑えることができました。工事施工部門につきましては課題が残ってしまいましたが、今後も環境に配慮した取り組みを積極的に行っていきます。

2018年度の工事実績

大成ロテックでは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。2018年度の完成工事をご紹介します。

国道45号 唐丹地区舗装工事



発注者

国土交通省 東北地方整備局

竣工日

2018年9月27日

工事概要

延長：約3.5km
コンクリート舗装：24,000㎡
アスファルト舗装：12,000㎡
橋面舗装：7,000㎡
排水構造土工：5,400m
縁石工：6,000m
防護柵工：5,000m

工事担当者の声

本工事は釜石地区の工事であり、ラグビーワールドカップ2019の試合会場の一つである釜石鶴住居復興スタジアムへのアクセスのために早期開通が望まれました。

工期短縮、冬季施工でのコンクリート舗装の品質管理、現場の出来栄等に対して多くの方々から協力をいただき、発注者より高い評価をいただきました。

今後も、多くの方々が、三陸沿岸道路を利用し、三陸地域に足を運んでいただくことが、復興の後押しになることに期待しております。



宮城工事事務所

中田 晋次

東日本大震災の復興道路である三陸沿岸道路の一部を構成する自動車専用自動車道「吉浜釜石道路」のうち、3つのトンネル・2つの高架橋を含む本線と釜石南ICランプ部を新設する舗装工事です。工区起点部である釜石南ICが先行供用となったため、検査および引き渡しを2段階で行い完成させました。

東名高速道路（特定更新等） 富士管内舗装補修工事（平成29年度）



発注者

中日本高速道路株式会社
東京支社

竣工日

2018年8月3日

工事概要

切削オーバーレイ工：52,000㎡
打換工：20,000㎡
床版防水工：4,700㎡
仮設連絡路設置：2箇所

工事担当者の声

短期間の昼夜連続集中工事で中央分離帯を取り壊し、仮設連絡路を完成させなくてはならないという厳しい条件の現場でした。失敗や遅延は許されないため、道路の排水機能を失わせず、車両が急激なハンドル操作とならない道路線形やドライバーが違和感を感じない道路勾配を緻密に計画しました。施工中は、一般車両に対し極力影響を与えないよう施工の向き等にも細心の注意を払い、無事故で完成させる事ができました。

多数の職員の努力によって発注者からの高い信頼を得て、感謝状や表彰をいただくことができました。



新東名NEXCO
関連工事事務所

上沼 一喜

東名高速道路の橋梁は供用後50年以上が経過し老朽化が進んでいます。この工事は富士IC-裾野IC間の赤沢川橋の床版を新しい床版に更新するため、東名高速道路の下り線を通行止めにし、上り線への連絡路を設け、一時的に対面通行化する工事です。

平成29年度 福岡空港エプロン改良工事（第2次）



発注者

国土交通省 九州地方整備局

竣工日

2019年3月23日

工事概要

空港土工：15,000㎡
ボックスカルバート：224m
コンクリート舗装：15,000㎡
アスファルト舗装：2,800㎡
飛行場標識工

工事担当者の声

現場が昼間施工のナイトステイエプロン（夜間駐機場）と、夜間施工箇所に分かれており、施工期間中は、24時間体制にて稼働する現場でした。

空港関係車両やその他工事業者と調整をしながら、両工区ともに十数回、工事区域を切り替えながらの施工であり、工程管理および安全管理を最重要課題とし施工を行いました。発注者から出来栄において、特に高評価をいただきました。



福岡工事事務所

森 大輔

2024年完成予定の福岡空港滑走路2重化計画に伴い、東側エプロン（駐機場）の改良（増設）工事であり、旧駐機場を新しくしていくとともに駐機スポットの増設を行いました。



[表紙解説]

表紙は明るい未来に向かって
様々な力を結集し、挑戦していく
決意を表現しました。

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<https://www.taiseirotec.co.jp/>



**NON
VOC**

本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。省エネルギーの「UV印刷」を採用し、揮発性有機化合物の大気への排出が極めて少ない「NON VOCインク」と、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC® 認証紙」を使用しています。